

第3回核融合核データワーキンググループ会合議事録

日 時 昭和 57 年 10 月 29 日 9 : 30 ~ 12 : 30
場 所 原研東海研究所 研究 2 棟 335 号室
出席者 村田 徹 (NAIG), 田中茂也, 中島 豊, 前川 洋,
大山幸夫 (オブザーバー) (原研), 真木紘一 (日立),
神田幸則 (九大)

配布資料 :

1. ^{12}C Evaluated Data File の比較
2. ^{27}Al Neutron Cross Section Evaluation

議 事

1. 一般報告及び討議

Antwerp Conf. に出た Liskien 等による $^7\text{Li}(n, n\alpha)$ の 14 MeV 附近の断面積は Young (LASL) の評価値より僅かに小さいが合っている。

FNS での測定の前備の結果も同様の値を示している。

FNS での Li 平板体系による実験の解析が進行中だが, Young の (n, n) 断面積は高めのようなのである。

2. ^{12}C の評価値 (田中)

資料を基に, ENDF/B-V と French Evaluation (J. Lachkar et al. NEANDC (E)168 "L") を比較しながら詳細な説明があった。B-Format への収納法に独特のものがある。これは軽い核での特殊な反応に対応したものである。実験との比較では, 特に目立つ欠点はない。

3. ^{27}Al の評価値 (中島)

ENDF/B-V は Dosimetry File で (n, p) (n, α) のみわかるが, B-IV と同じ内容であった。ENDF/B-IV のコメントの内容と JAERI-M 8136

のグラフを使って詳細な説明があった。

4. 自由討論

B-Format を詳細にみると複雑なものがあり、実際に使用する際にどのようにしているか問題である。

群定数作成の際にどう取扱っているか調べる必要ある。

5. 次回予定

58年2月3日(木)